### 第4期 第3回多摩区区民会議 次第

日時: 平成25年2月12日(火)

18:00~

場所: 多摩区役所11階会議室

開会

### 1 開会挨拶

### 2 議事

- (1) 部会での審議状況と意見交換
  - コミュニティ部会
  - 自然災害部会
- (2) 区民会議フォーラムについて
- (3) その他
  - ・区民会議ニュース第2号について
  - ・次回区民会議日程について

### 3 閉会挨拶

閉会

### <配布資料>

資料1 第4期多摩区区民会議委員名簿

資料 2 多摩区区民会議座席表

資料3 コミュニティ部会の検討経過、検討フローシート

資料4 自然災害部会の検討経過、検討フローシート

資料 5 多摩区区民会議フォーラム (案)、過去の開催概要、第3期委員アンケート

資料6 区民会議ニュース第2号概要

資料7 区民会議スケジュール

参考資料1 多摩区区民会議ニュース第1号

参考資料 2 川崎市総合都市交通計画(案)市民説明会

# 第4期 多摩区区民会議委員名簿

資料1

平成25年2月12日現在

任期:平成24年7月1日~平成26年6月30日 (敬称略•50音順)

NO	氏名	部会	推薦団体 及び 活動団体
1	が シッツ 安陪 修司	自然災害部会	多摩区商店街連合会
2	アライ セイイチ 荒井 精一	☆自然災害部会 企画部会	市民公募
3	○石橋 吉章	自然災害部会 企画部会	区長推薦
4	27 ## 127# 岩﨑 宏政	自然災害部会	多摩区•3大学連携協議会
5	©大津 努	コミュニティ部会 企画部会	多摩区社会福祉協議会
6	****	自然災害部会	多摩防犯協会
7	国保 久光	コミュニティ部会	川崎市医師会多摩区医師会
8	小塚 千津子	コミュニティ部会	多摩区こども総合支援連携会議
9	シライ マサトシ 白井 正壽	コミュニティ部会	セレサ川崎農業協同組合
10	ッジノ カツユキ 辻野 勝行	☆コミュニティ部会 企画部会	市民公募
11	○戸髙 仁子	コミュニティ部会 企画部会	かわさきかえるプロジェクト
12	ジャマ 上デュ 西山 英子	コミュニティ部会	多摩区文化協会
13	=>y\$ >=>t/ 新田 渉世	自然災害部会	区長推薦
14	がる ま 配島 裕美	コミュニティ部会	多摩区地域教育会議
15	原田 弘	自然災害部会	多摩交通安全協会
16	デアラ ッカサ 藤原 司	自然災害部会	区長推薦
17	#ソノ 対策 細埜 隆己	★自然災害部会 企画部会	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会
18	本多 正典	コミュニティ部会	市民公募
19	松本 英嗣	★コミュニティ部会 企画部会	多摩区町会連合会
20	吉田 輝久	自然災害部会	多摩区自主防災組織連絡協議会

◎委員長 ○副委員長 ☆部会長 ★副部会長

### 【参与】

### 市議会議員

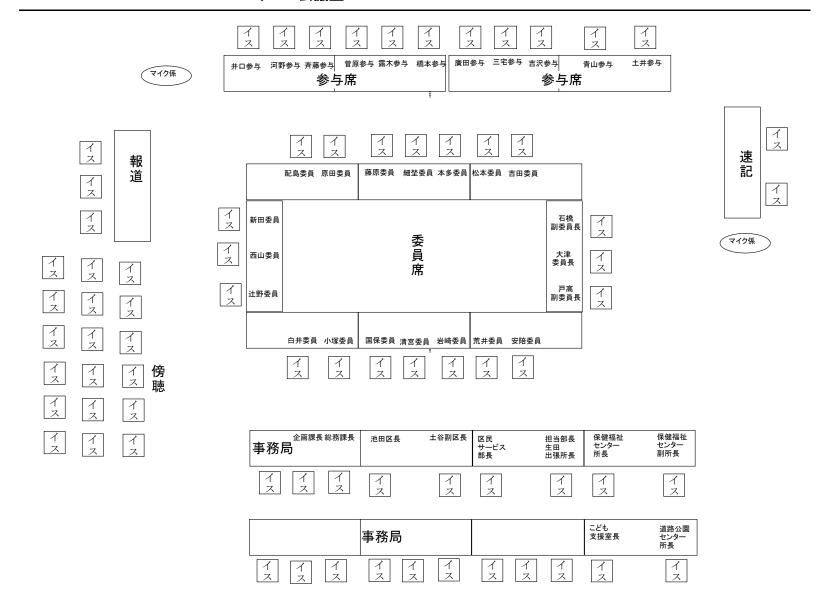
井口 真美 河野 ゆかり 斉藤 隆司 菅原 進 露木 明美 橋本 勝 廣田 健一 三宅 隆介 吉沢 章子

### 県議会議員

青山 圭一 土井 りゅうすけ

# 第3回多摩区区民会議

1102、1103会議室





### 第4期多摩区区民会議 コミュニティ部会 検討経過

○第1回区民会議(平成24年8月30日(木)) 取組テーマのアイデア出し ○第2回区民会議(平成24年11月6日(火)) 部会及び部会員の決定

### 第1回部会 12月5日(水) 18:00~19:50

コミュニティを巡る具体的な取組内容、取組方法について意見交換を行った。

### 口地域コミュニティの再生・復活

- ・地域の中での絆、人々の関わり合い・助け合いの関係が薄れてきている。
- ・地域との関係が薄い人たちが気軽に立ち寄ったり、出会う場・機会をつくることが求められている。

### ロイベント情報の集約・広報

- ・町内会自治会のイベント、地域祭事、健康体操等人が出会える催しの情報が把握しきれていない。
- ・区内のイベント一覧ポスターや冊子があると交流が進む。



区内施設のうち、第3期に空き時間状況を調査していないこども文化センターの現況を調べる。

### こども文化センター・空き時間状況調査

- ●1月16日(火)午後 中野島こども文化センター、菅こども文化センター
- ●1月17日(水)午後 三田こども文化センター、錦ケ丘こども文化センター

調査事項:利用できる時間帯、利用のための手続き、利用できる部屋・道具、利用にあたっての注意事項など

### 第2回部会 1月28日(月) 18:00~19:40

コミュニティを巡る現状と課題について意見交換を行った。

口部会の目的 顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する。

### 口定年退職者を地域に参加させる工夫

・定年退職者の能力を地域で活かしてほしいが、退職まで地域との接触が少なかったため、なかな か地域に出るチャンスがない人たちが多い。地域に出てきやすくする工夫が必要だ。

### 口子どもたちは自由に使える時間が少ない

・塾や習い事が多く、子どもたちが自由に使える時間が少なくなっている。イベントや地域行事へ 参加する子どもが年々減少している。

### 口出会いのチャンスから地域活動が広がる

- ・地域で行われている環境活動を偶然覗いたことから、環境 NPO の活動を熱心に継続することになった人たちもいる。活動に触れる機会があれば、参加する人が出てくる。
- ・出会いから地域活動につながるチャンスが生まれる。
- ・時間がある定年退職者をターゲットに、地域に出てくるチャンスづくりに取り組むことが必要。

○第3回区民会議(平成25年2月12日(火)) 各部会の検討経過と全体での意見交換

第3回部会 3月11日(月) コミュニティの現状・課題と解決策の検討

### 目 的

# 顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する

#### 現 状

#### ①人々の地域との関わり

- ・定年退職するまで地域との接触が少なかった人は、退職後地域活動に関わるよりも会社から開放された自由を楽しむ気持ちが強く、なかなか地域に出てこない傾向がある。
- ・若い人は仕事中心で時間がなく、地域への参加はむずかしい。
- ・子どもたちは低学年までは地域との接触があるが、高学年になると塾・習い事などで自由に使える時間が少なくなることもあり、イベントなどに出てくる子どもが少ない。
- ・比較すると戸建住宅よりマンションに住んでいる住民と顔見知りになる機会が少ないような印象を受ける。

#### ②地域参加のしかけ

- ・本人が気楽に参加したい気持ちになって、その活動の居心地がよければ、続いていく
- ・多摩ニュータウンには「福祉亭」という食堂がある。人は誰でも必ず食事をするから、イベントには出て来ないが食事なら来たりする。また、地域の絆づくりのためにコミュニティカフェを始めた。
- ・わくわくプラザには小学生の子どもたちが一定数来ている。そういう場に地域の人も手伝いにくることもある。
- ・コミュニケーション能力が未熟な学生に対して、ある大学では大学生活の送り方を学習する機会を設けている。
- ・場所ありきではないだろう。人と仕掛けがあれば、場所はあとからついてくる。

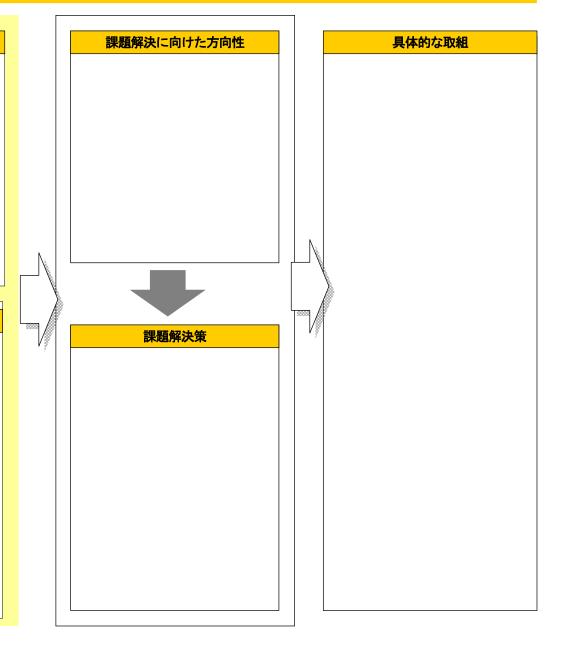
#### 課 題

#### ①地域に出てくる仕掛けづくり

- ・定年退職して家に引きこもりがちな人たちが地域に出るきっかけが必要。好きなことで出てきてもらう方法がよいだろう。さまざまな退職高齢者に地域に出てきてもらうことが必要だ。
- ・行動力のある人は多少の困難があっても、時間をつくって、どんなところだって出ていく。引っ込み思案な人にどうやって出てきてもらうかが課題だ。
- ・地域に出てこない人であっても、本当はどこかのコミュニティに属したいのではないか。出てこない人がどうやって出てこられるようにするかがコミュニティ部会の目的ではないだろうか。
- ・地域の集まりではみんな挨拶や会話をしている。これをどうコミュニティ、さらには「災害に際しての共助」に つなげていけるか。
- ・たまたま出会ったものを面白い、楽しいと感じて活動が続いている場合がある。外に出ない人でも、そういう出会いの場をどうしたらつくれるかを考えるとよい。

#### ②コミュニケーション能力をはぐくむ

- ・こども文化センターと老人いこいの家が合築されているところでは、こどもと高齢者との間に好きなことを教え、 教えられる関係が生まれ、楽しい活動が続いているところもある。こうした活動を広げられないか。
- 人とのコミュニケーション能力が基本である。それが薄れてきた最近の状況をどうやって変えることができるかを考えることが必要だ。
- ・挨拶ができる関係から、コミュニティは始まる。挨拶運動、声かけ運動も必要だ。



### 第4期多摩区区民会議 自然災害部会 検討経過

〇第1回区民会議(平成24年8月30日(木)) 取組テーマのアイデア出し 〇第2回区民会議(平成24年11月6日(火)) 部会及び部会員の決定

### 第1回部会 12月3日(月) 18:00~19:50

自然災害を巡る具体的な取組内容、取組方法について意見交換を行った。

### 口大学との連携

- ・大学を一組織としてではなく、学生を一住民と捉える中で助け合いの仕組みができると良い。
- ・寮等に住んでいる学生を、学校単位で避難所の担当を決められると良い。

### 口隣近所での助け合いの体制づくり

- ・「一次的に隣近所で助け合える体制」のイメージを描き、現状と乖離している部分をどうすれば 良いかをまとめられると良い。
- ・家族防災会議、隣組防災会議などを開催してはどうか。



委員間の防災に関する情報を統一するために「自然災害」勉強会を開催する。

### 「自然災害勉強会」 1月17日(木) 18:00~19:50

多摩区役所危機管理担当から、川崎市及び多摩区の防災に関する取組について話しを聞いた。

### 「川崎市の災害対応について~その概要」

- 1 川崎市の地域防災計画と多摩区地域防災計画について
- 2 個別の施策について 自助として・共助として・公助として



### 第2回部会 1月25日(金) 18:00~19:25

自然災害を巡る現状と課題について意見交換を行った。

口部会の目的 いざという時に助け合える体制づくり

### 口情報の周知

・自助の内容・必要性、共助の仕組み等に関する情報が周知しきれていない。また、情報が伝わっても、具体的に取り組めていない人もいる。

### 口避難所の運営・設置

- ・避難所の担い手の高齢化、避難所運営会議・ネットワーク会議等の活動が避難所によって温度差がある。
- ・区割り、立地場所、収容人数等に課題がある避難所もある。

### 口その他

- ・災害の記憶(過去に起こった災害の被害状況等)を記録し、伝えることが重要だ。
- ・大学・高校、企業・事業所等との連携が必要だ。

○第3回区民会議(平成25年2月12日(火)) 各部会の検討経過と全体での意見

第3回部会 3月5日(火) 自然災害の現状・課題と解決策の検討

平成25年

### 目 的

# いざという時に助け合える体制づくり

### ◆自 助

#### 現状

#### ①防災意識

- ・冷蔵庫や棚の転倒防止、水の確保などをしている家庭もある。ただし、一人暮らしの高齢者などは難しいこともある。
- ・最低3日間の食料と飲料水は、各家庭で確保することを推奨しているが、実際にはできていない家庭もある。

#### ②情報の周知

- ・川崎市が作成した防災啓発の小冊子「備える。かわさき」や「洪水ハザードマップ」の初版は、 町内会等を通じて配布された。(その後は全戸配布はされていない。)
- ・避難経路を含め、指定されている避難場所など、防災に関係する情報を知らない人が多いと思われる。

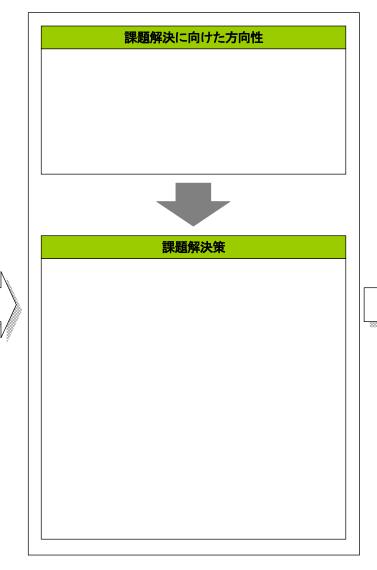
#### 課題

#### ①防災意識

- ・災害に対して関心があったとしても、避難訓練には町内会・自治会役員以外の一般区民の参加が少ない傾向がある。
- ・防災について真剣に考えているのなら、避難訓練にもっと多くの区民が参加すべきであり、参加してもらえるような工夫が必要だ。
- ・普段から懐中電灯などを用意しなさいと言うことは簡単だが、実際に持ち歩かせるのは難しい。

#### ②情報の周知

- ・「備える。かわさき」の中に液状化のマップが掲載されているが、自宅がどこにあたるか分かり にくい。
- ・防災に関するさまざまな資料は、市のホームページからダウンロードできるが、区民にはあまり知られていないようだ。
- ・町内会等を通じて資料が配布されるが、いざというときには手元にないこともある。また、回 覧板で回覧される資料は、見ていない人もいる。
- ・液状化、上水道の漏水、がけ崩れ、集中豪雨・ゲリラ豪雨、洪水といった項目について、トータルで情報を見ることができない。
- ・防災に関するさまざまな団体・組織があるが、それらがどのような活動をしているのかあまり 知られていないようだ。
- ・災害情報は、市、警察署、消防署、各種団体、町会にどのように伝わり、これらの組織がいかに情報を一つにして連携を取るか。また、その中に市民をどう巻き込むかが重要だ。





### ◆共助

#### 現 状

#### 1 共助の体制

#### (1)自主防災組織

・自主防災組織は町内会・自治会が中心となり、稲田地区に55、生田地区に75組織されている。

#### ②大学との連携

- ・川崎市と明治大学で協定を結び、地域産学連携研究センターに備蓄倉庫を設置、毛布など災害物 資を備蓄している。
- ・明治大学の学生のうち約3割が区内に住んでいる。

#### ③援護が必要な人への支援

・3.11 (東日本大震災) の際には、電話がつながらず安否確認ができず、最終的には家まで行って 初めて確認できた。

#### ④区内事業所との連携

- ・九都県市の首都圏防災ネットワークでは、帰宅困難者を対象とし、コンビニやファミレス、ファ ーストフード店などと協定を結んでいる。
- ・多摩区には防災協力事業所として、12事業者が登録し協力関係を結んでいる。

#### 課 題

#### 1. 共助の体制

#### ①自主防災組織

- ・町内会に加入していない一人暮らしの若い世代や自治会のないマンションは自主防災組織に参加 していないことが多く、災害時の支援や安否確認が難しい。
- ・町内会・自治会の役員は高齢者が多く、いざという時に即戦力として活動するのが難しい。60 歳前の人は仕事が忙しく町内会でなかなか活動できない。
- ・避難訓練等を積極的に実施するなどして自主防災組織がよく機能しているところと、そうでない ところの差がある。

#### ②大学との連携

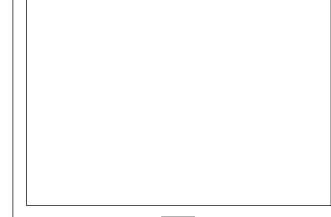
- ・大学生は4年たつと卒業してしまうため、継続することが難しい。また、災害時は交通機関が復 旧すると帰省する学生もいる。
- ・大学としては、まず学生の安全を確保する必要がある。3.11 の際はボランティアを組織的に立 ち上げるまでに1ヶ月を要した。

#### ③援護が必要な人への支援

- ・町内会・自治会が支援の中心になるが、高齢者が多く、一つの町会が複数の避難所の運営を抱え ると大変である。
- ・高齢者や要援護者を助け出せるのは隣近所の人しかない。その意識付けが必要だ。
- ・個人情報を過度に意識するなどの要因により、災害時要援護者支援制度への登録者がなかなか増 えていない。
- ・災害時要援護者支援制度に障がいのある人も登録できることを、高齢者は民生委員などとのつな がりから知っているが、一般の人はあまり知らない。

#### ④区内事業所との連携

- ・九都県市の首都圏防災ネットワークの協定は帰宅困難者が対象だ。3.11 の際は、コンビニに人 が並び夜には食べる物がなくなった。市・区としては、区民の食糧確保を協定する必要がある。
- ・登戸や中野島の会社・工場と災害時の協力体制が結べないか。



課題解決策

課題解決に向けた方向性





具体的な取組

#### 現状

#### 2. 避難施設

#### ①避難所

- ・市立小学校・中学校が避難所として指定され、区内には21の避難所がある。
- ・区境の地域は隣接区の避難所が指定されている場合があり、認知度を上げる必要がある。

#### ②避難場所

- ・避難場所には、一時避難場所と広域避難場所がある。一時避難場所は、公園や空き地等に一時的に集合するもので、町内会等が任意で定める。
- ・菅地区には、緊急時に避難場所として指定されている農地が多くある。川崎市民防災農地登録制度では、農地を個人が登録し一時避難場所として利用できるようにしている。

#### 3. 物資等の備蓄

- ・避難所等に備蓄倉庫が設置されている。確保できる倉庫の収容面積に合わせて備蓄しており、近隣の避難所と融通し合うことになっている。
- ・避難所に対して支援物資の輸送がなされ、避難所が配付所になる。
- ・小学校の空きスペースなどを利用して災害物資を備蓄している。平成27年度には、全ての避難 所で備蓄倉庫が整備される予定である。
- ・町内会・自治会は、近隣の公園等に防災倉庫を設置し、独自に備蓄を行っているところもある。

#### 4. 地震以外の災害など

- ・多摩区では、特に二ケ領用水からの浸水対策が重要だ。
- ・大正の地震のときは登戸小学校一帯が液状化し浸水した。明治 43 年の大洪水では多摩川が決壊し、1メートル高さの水がなくなるまでに1週間かかった。
- 住宅密集地では壁と壁の間が通れないところもあり、密集地に対する火災対策が必要だ。

#### 課題

#### 2. 避難施設

#### ①避難所

- ・避難所運営会議、防災ネットワーク会議は活発に活動しているところと活発でないところがある。 活発でない組織に対して、有効に活動できるようにすることが課題だ。
- ・町内会の役員が2年で変わり、自主防災組織や避難所運営会議のメンバーも変わってしまうところもある。
- ・避難所運営会議の存在、役割等について区民に十分に知られていない。
- ・街なかに避難所の名称は掲示してあるが地図や方向指示がないので、土地勘がないと避難所の場所がわかりにくい。
- ・一つの町内会・自治会が複数の避難所に関わっているため、そこに役員を出すのも大変だ。
- ・想定される避難者の人数が収容人数を超える避難所があり、受け入れをどうするかが課題だ。
- ・高台にある避難所もあり、高齢者や足の不自由な人は避難が難しい。
- ・自宅が無事であれば避難所に行かなくても良いことをあまり知られていない。

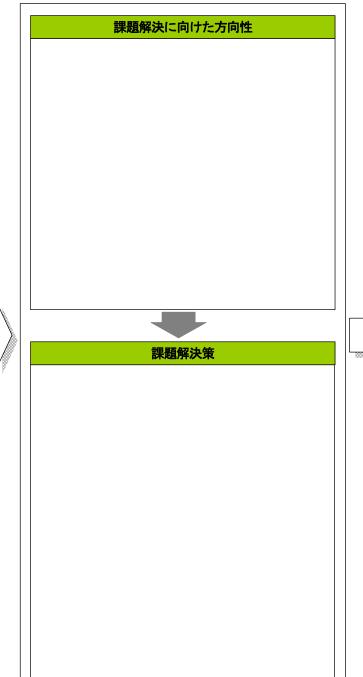
#### ②避難場所

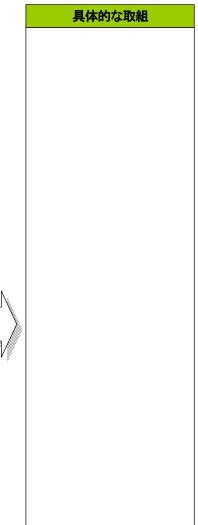
- ・一時避難場所を設定していない町内会・自治会がある。安否確認の意味も含め、まず、身近な一時避難場所を定めて避難し、そこから決められた避難所に移動することが重要だ。
- ・河川敷が広域避難場所になっているが、洪水などの場合の避難場所を確認する必要がある。

#### 3. 物資等の備蓄

- ・救援物資の供給に関しては、障がい等で避難所に取りに行けない人にどう届けるか、自宅で避難 生活を送る人たちへどう情報を伝えるかが課題だ。
- ・備蓄倉庫が上階に設置されている避難所では、防災備品を階下に運ぶのが大変だ。
- ・リヤカーなど町内会・自治会が購入した防災備品を置く場所がないところもある。買いたくても スペースがない町内会・自治会もある。公園等に倉庫を設置するには、面積等に制限がある。

#### 4. 地震以外の災害





## 第4期 多摩区区民会議フォーラムについて(案)

多摩区区民会議では、第1期から第3期まで、審議結果や審議状況の報告、参加者 との意見交換を目的として、区民から参加者を募り、フォーラムを開催してきました。 第4期においても、以下の内容を基本として、フォーラムの開催について検討しま す。

### 1 目的

第4期区民会議の審議状況の途中経過を報告し、区民から意見をいただくことを目的とする。

### 2 開催時期

- 10 月下旬から 11 月の土曜日もしくは日曜日
  - →途中経過の報告、意見交換を目的とするため、最終報告に向けたまとめに入る 前の段階で開催する。
  - →区民の参加を募るため、土日の開催とする。

### 3 会場

多摩区役所会議室

- ※ 区役所 11 階会議室は、選挙及び統計調査のため、使用できない期間がある。 →1101 会議室(~10/30)、1102・1103 会議室(~11/24)
- ※ 10 月下旬に開催する場合は 6 階と 10 階、11 月上中旬に開催する場合は 10 階と 11 階の会議室を組み合わせて使用する。

# 多摩区区民会議フォーラム 開催概要

	開催日時・会場	概  要	その他
	●平成20年6月28日(土)	●区民会議説明	●審議結果の報告と意見交換
	●午後2時~4時	・区民会議制度の概要など	を目的として行った
	●多摩区役所 11 階会議室	●調査審議結果の報告	●参加者30名程度
第1期	●先着 50 名、申込不要	・審議テーマ「多摩区の魅力づくり」	
		・区民活動情報ひろばの構築	
H18.7.1		・駅前広場等を活用したコンサート等の実施によるまちおこし	
~		・こどもが外遊びを体験できるしくみづくり	
H20.6.30		・市民活動支援拠点の拡充	
		・区民会議からの報告に対する区役所の取組み	
		●自由討議	
		・テーマ「多摩区の地域課題を提案しよう!」	
	●平成21年11月29日(日)	●区民会議説明(20分)	●審議状況の報告と意見交換
第2期	●午後2時~5時	・「区民会議とは」・全体テーマ・区民会議の構成	を目的として行った
おと粉	●多摩区役所 11 階会議室	●調査審議の中間報告	●参加者40名程度
H20.7.1	●先着 50 名、申込不要	・子どもが育つ環境からみた世代間交流	
~		・道路整備	
H22.6.30		・多摩区の地域特性に適した地域交流確率	
1122.0.00		・「藤子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備	
		・コミュニティづくり〜町内会・自治会の活性化	
第3期	●平成23年10月29日(土)	●全体説明(30 分)	●審議状況の報告と意見交換
ZJ C ₹/J	●午後 1 時 30 分~4 時	●テーマ別意見交換(120分)	を目的として行った
H22.7.1	●多摩区役所 11 階会議室	・みんなで広げよう!(環境・観光部会)	●意見を区長への報告に反映
~	●申込不要	・ご存知ですか? 自転車のルール・マナー(交通安全部会)	●参加者33名
H24.6.30		・子どもからシニアまで世代をこえてコミュニティが図れる場、人材、	
1 124.0.00		しかけについて検討してみましょう(コミュニティ交流促進部会)	

### 第3期多摩区区民会議の振り返り用アンケート集計結果(回答数:16)

### フォーラムの開催について

問 区民会議フォーラムを平成23年10月に実施しましたが、実施時期について、い つごろがよかったですか。(○は1つだけ)

1. 課題の選定についてもっと区民の意見を反映するため、早く行った方が良い。	1
2. 丁度良かった。	1 5
3. 区民会議の報告書(案)について意見をもらうため、もっと後でも良かった。	0
4. その他	0

問 フォーラムの内容は、部会と合わせて、3つの会場に別れて実施しましたが、各部 屋の人数にばらつきがありましたが、この方法でよかったですか。(○は1つだけ)

1. この方法でよかった。 1									
2. 1つのテーマに絞って、1つの会場で実施した方が良かった。									
3. その他 ・3会場で良かったが、もう少し若い世代(3大学等)の参加も考えた									
	方がよい。								
	<ul><li>部会を2つ程度にすれば、ばらつきも少なくなると思われる。</li></ul>								
	・コミュニティ交流促進部会は2チームが隣合わさったため、声だ	ぶ交錯							
	し議論しにくかった。								

問 フォーラムの時間は、全体の説明(60分)と区民との意見交換(90分)を合わせて、2時間30分実施しました。時間の長さについては、良かったですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 区民の意見交換の時間をもっととった方が良い						
2. 全体の説明	の時間をもっととった方が良い	2				
3. 区民の意見交換の時間をもっと短くした方が良い						
4. 全体の説明の時間をもっと短くした方が良い						
5. その他・まとめの時間をもう少し長く取った方が良い。						
	<ul><li>・テーマを2つぐらいにすれば今回の長さで良い。</li></ul>					
	・時間配分も、今回ので、丁度良かった。(4)					

問 フォーラムの内容として、区民との意見交換に重点を置きましたが、実施方法について意見を伺います。(○は1つだけ)

1. 今回のような、審議途中の内容について区民との意見交換を実施した方が良い。	1 2
2. 審議結果が出た後で、区民との意見交換を実施した方が良い。	0
3. 意見交換ではなく、審議を行った内容について、専門家からの講演などに重点	1
を置いた方が良い。(今回であれば、自転車のルールやマナーの講演の実施など)	1
4. 意見交換ではなく、審議を行った内容について、区民への報告に重点を置いた	- 0
方が良い。(今回であれば、いこいの家の活用方法などを報告)	2
5. その他 ・区民会議で審議する課題の決定の仕方にする。	

## 第4期多摩区区民会議ニュース第2号概要

- 1. 発行の形態
  - ■A4 4ページ (A3 二つ折)
  - ■カラー
- 2. 発行スケジュール

2月	○13日 (水) ~19日 (水) ○20日 (水) ~3月4日 (月)	レイアウト作成(事務局) 原案作成(事務局)
3月	O5日(火) O11日(月) O12日(火)~15日(金) O18日(月) O19日(火)~26日(火) O27日(水)	内容確認(自然災害部会) 内容確認(コミュニティ部会) 修正 入稿 印刷・発送準備 町内会・自治会到着

### 2. 構成案

1P	2P	3P
■タイトル	■コミュニティ部会	■自然災害部会の進
■第3回区民会議の	の進捗状況	<b>歩</b> 状況
内容(2/12 開催)		

4P
■区の自転車交通安全に関する取組
■区民会議交流会に参加

## 第4期多摩区区民会議 開催スケジュール

平成25年2月12日現在

					π. <del></del> 0	4 左连									π. <del></del>	25 左连			平成 25 年	-ZH   Z	日現住
		8月	9月	10月	平成2	4 年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	25年度 10月	11月	12月	10	0 🗆	2 -
区民会議(全体会議)	区民会議 ニュース	οн	9月	ЮЯ	II /J		第1号発行			第2号発行		ОН	<i>1</i> /J	<u>он</u>	ЭД		3号発行		1月	2月 <b>第</b>	3月 <b>☆</b> 54号発行
	ミーティング	第●──・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8/24 - 1 - 7 出し   1 -	9/25 • _/\_	10/23																
	全体会議	第一・審議テーマについて	1 回 8/30 ・運営方法の確認	<b>第</b>	<b>92回</b> 11/6 ・ 審議テーマの決定		事前調	第3回 2/12 ・現状と課題の全	2	事前調	第・実施主体の検討・解決策・取組内容・		事前調	第一・解決策・取組内容・		事前調	・ 最終報告書の検討		事前調	第 ・ 最終報告書の確認	(最終報告書)
企画(調	部会 整・運営部会)						整 ● 2/4			整			整			整 ●			<b>整</b>		
	コミュニティ部会					マに屋(※)	関する!	見状・課	題	・解: ・実	決策の 施主体の	検討 の検討	・取糸	祖内容の	検討		                 	報告に め			
専門部会					<b>1</b> 1/6	<b>●</b> 12/5	• 1/	28	3/11		•		•	•		•	•		•		
	自然災害部会				審議すの把握	- -ーマに <b>産(※)</b>	関するJ	見状・課	題	・解・実	決策の 施主体の	検討 の検討	• 取約	祖内容の	· )検討		               	報告に め	句けての		
					<b>1</b> 1/6	<b>●</b> 12/3	<b>•</b> 1/	 25	<ul><li>3/5</li></ul>		•		•	•		•	•		•		

<sup>\*</sup>適宜現地視察や、関係者ヒアリング、勉強会などを開催。